

SANS FRONTIÈRES

vol.30

水戸葵陵高等学校ホームページ <http://www.kiryu.ac.jp/>

看護の出前授業

平成30年7月25日(水)、水戸赤十字病院から佐井川まさ子先生をお招きし、看護の出前授業が催されました。漠然とした職業観のまま参加した生徒にとって、医師や看護師が患者の病気や怪我を治すことは勿論、そのご家族への精神的なサポートもしていることを知るきっかけとなりました。

特に、緩和ケア病棟で2、3日に1回は患者を見送る「死」と向き合う日々についてのお話では、生徒は命の尊さを知り、医療現場で働くことの苦労を伺うことができました。生徒からは「精神的な負担」についての質問も出ていました。

さらに、2時間目は将来、看護師を目指す生徒11名を対象に、血圧や心拍数を測定するバイタルチェックを行い、ペアでロールプレイをしながら実習をすることができました。特に、手動の血圧計は対象者の脈拍を聴診器で聞き取りながら計測するのが難しかったようです。



今回のイベントを通して、参加した生徒はより一層進路実現へ向けてモチベーションを向上させることができたようです。高校生の時から一貫してこのようなイベントに参加することは、生徒諸君の職業観、就労観を養う絶好の機会です。やらされる学習から自らの目標を実現するため学習への転換もさることながら、使命感を持った医療人になるための動機付けがなされるイベントには積極的に参加して欲しいと思います。

学習合宿



7月29日から8月1日まで、1、2年生の希望者を対象に、レイクエコーで夏の学習合宿が行われました。

医歯薬コースからも多数の生徒が参加し、普段と違う環境で学習に励みました。長時間の学習も夜の自習時間も集中して臨むことができました。特に1年生については、春の宿泊学習も同じ場所で行いましたが、その時よりも集中力がついているように感じました。

この学習合宿では、じっくりと問題に向きあったり、自分の取り組むべき課題を見つけたり、集中力を養ったりする目的がありました。合宿の経験をもとに、各自が有意義な夏休みを過ごすことができました。

一日医師体験

夏休みに水戸市にある城南病院で一日医師体験に参加しました。オリエンテーションの後、院内見学や血圧の測定、普段は見れない手術室やCT室に入り、どのような手術や検査を行うのかを知ることができました。お昼休みには実際の病院食をいただき、栄養面で十分に考えられているメニューであると実感しました。その後、医師との懇談会に参加させていただき、茨城県の医師不足の現状について、貴重なお話を伺うことができ、さらに、午後からはデイケアにお邪魔させてもらい、高齢者の方々とお話をしたり、お手伝いもさせていただき、良い経験ができました。今回の体験で、医師を中心として様々な職種のスタッフが仕事に責任と誇りを持って関わっている医療現場を知ることができました。(1-2)

一日看護体験

今年も夏期休業中に茨城県看護協会が主催する1日看護体験に多くの生徒が参加しました。提出された感想文に目を通すと、有意義な時間を過ごした様子が窺えました。高齢者との会話や実際に患者さんの身体をタオルで拭くなどコミュニケーションを楽しんだ生徒、看護という仕事内容への認識の甘さを痛感する生徒、医師や様々な職種のスタッフとのやりとりを見て感動する生徒。それぞれが得た貴重な体験が書かれていました。

今後もこのような体験に積極的に参加するなどして、自身の進路について真剣に考えるとともに、理解を深めて欲しいと思います。

作業療法・理学療法・言語聴覚療法 見学会

夏期休業中に茨城県リハビリテーション専門職協会が主催する作業療法・理学療法・言語聴覚療法見学会に8名の生徒が参加しました。

作業療法見学会では、病院で働いている理学療法士の方やリハビリをしている患者さんとの話し合いで、実際の医療現場を身近に感じることができました。また、靴下を履かせる器具を作り、その器具を使い体験することで、患者さんの気持ちも考えることができました。

言語聴覚療法見学会では、言語聴覚療法士の方と話をすることで、医療現場での大変さや、言語聴覚療法士の重要性を改めて理解することができました。また、リハビリ体験で1～9の数字の並べ替えや、ひらがなの並べ替えを体験しました。

作業療法・理学療法・言語聴覚療法の仕事内容に関して、まだまだ知らない生徒も多いと思います。是非、医療関係の進路に進みたいと考えている生徒は、チーム医療の大切さを理解する上でも、来年の夏休み参加してみてください。

教えて先輩

医歯薬コース卒業生から大学についてのお話を伺う「教えて先輩」が8月20日に行われました。医学部、薬学部、医療系、理工農の4ブースから希望の講座を選びました。

先輩の中に志望大学に通っている方がおり、大学内部のことが詳しく知れて嬉しく思うとともに、より一層行きたい気持ちが強まりました。先輩方の中に「高校では一切遊ばずに過ごした」とあり、そのくらいの覚悟の人と同じ受験をするんだと考えると、受験は改めて大変な事だと感じました。逆に、先輩達を見て、大学は大変そうなところも少しあるけれど、とても楽しそうな様子だったので、志望校に合格して充実した大学生活を送りたいと強く思いました。そのためにも辛い受験期を越えられるよう頑張っていきたいと思います。(2-1)



推薦図書



今月は雑誌を2冊ご紹介します。

まずは「月刊 医歯薬進学」。

医系受験情報雑誌です。各大学の特色や入試の情報、入試科目の学習指導など、役立つ情報満載です。



こちらは「日経サイエンス」です。

SCIENTIFIC AMERICAN の日本語版で、医療系に限らず、科学の最先端の話題が取り上げられていて、調べ学習や小論文対策にも役立ちます。最終ページには、毎月「今月の科学英語」が掲載されています。